

令和6年度 学校基本調査結果の概要

令和6年5月1日現在で市内に所在する学校等を対象として実施しました「学校基本調査（基幹統計調査）」のうち、「学校調査」と「卒業後の状況調査」の結果をまとめましたので、その概況を公表します。

また、令和6年4月1日現在で市内に所在する保育所の概況（学校基本調査対象外）についても、併せて公表します。

目 次

I 学校調査

1	学校数	2 ページ
2	在学者数	3 ページ
3	幼稚園	4 ページ
4	幼保連携型認定こども園	5 ページ
5	保育所（学校基本調査対象外）	5 ページ
6	小学校	6 ページ
7	中学校	7 ページ
8	高等学校	8 ページ
9	専修学校	9 ページ
10	各種学校	10 ページ
11	短期大学	11 ページ
12	大学	12 ページ

II 卒業後の状況調査

1	中学校	13 ページ
2	高等学校	14 ページ
3	短期大学	15 ページ
4	大学	16 ページ

I 学校調査

1 学校数 - 学校総数は 989 で、前年度と比べ 1 増加（保育所を除く）

令和 6 年 5 月 1 日現在の市内の学校数は、
 幼稚園 166 園（前年度比 3 園減）、
 幼保連携型認定こども園 69 園（同 3 園増）、
 保育所 479 所（同 1 所増）、
 小学校 293 校（同 2 校増）、
 中学校 154 校（同 1 校増）、
 義務教育学校 1 校、
 高等学校 86 校（同 3 校減）、
 中等教育学校 1 校、
 専修学校 159 校、
 各種学校 19 校、
 特別支援学校 18 校（同 1 校増）、
 短期大学 8 校、
 大学 15 校
 でした。

前年度と比べ、幼稚園が 3 園、高等学校が 3 校減少した一方、幼保連携型認定こども園が 3 園、小学校が 2 校、中学校及び特別支援学校が 1 校増加し、学校総数は 989 と前年度より 1 増加しました。

【付表 1】

※小学校は分校 4 校を含みます。
 ※特別支援学校は分校 1 校を含みます。
 ※学校総数には保育所を含んでいません。

付表 1 各学校数の推移

（園・校）

年度	幼稚園	幼保連携型認定こども園	保育所	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	中等教育学校	専修学校	各種学校	特別支援学校	短期大学	大学
平成27年	186	21	408	301	154	-	90	1	166	26	16	8	11
28年	182	25	417	299	155	-	90	1	163	26	16	8	11
29年	178	33	420	297	155	-	90	1	165	26	16	8	11
30年	176	40	443	296	155	-	91	1	166	25	16	8	11
令和元年	172	50	456	296	155	-	91	1	165	25	16	8	11
2年	171	55	456	298	155	-	89	1	165	26	17	8	11
3年	170	58	467	296	154	-	89	1	164	25	17	8	13
4年	169	62	477	291	153	1	89	1	161	24	17	8	15
5年	169	66	478	291	153	1	89	1	159	19	17	8	15
6年	166	69	479	293	154	1	86	1	159	19	18	8	15
（前年との差）	△3	3	1	2	1	-	△3	-	-	-	1	-	-

2 在学者数 - 在学者総数は37万6112人で、前年度と比べ718人減少（保育所を除く）

在学者数は、

幼稚園 1万7012人(前年度比9.5%減)、
 幼保連携型認定こども園 9709人(同5.7%増)、
 保育所 4万1729人(同1.3%減)、
 小学校 11万5643人(同0.7%減)、
 中学校 6万1314人(同0.1%増)、
 義務教育学校 847人(同6.3%増)、
 高等学校 6万9301人(同0.3%増)、
 中等教育学校 18人(同61.7%減)、
 専修学校 5万5392人(同0.5%減)、
 各種学校 5100人(同8.4%減)、
 特別支援学校 3054人(同3.3%増)、
 短期大学 2435人(同4.1%増)、
 大学 3万6287人(同4.7%増)

でした。

在学者の総数は37万6112人で、前年度と比べ幼稚園、小学校、中等教育学校、専修学校、各種学校で減少した一方、幼保連携型認定こども園、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、短期大学、大学で増加しました。

【付表2】

※在学者の総数には保育所を含んでいません。

付表2 各在学者数の推移

(人)

年度	幼稚園	幼保連携型認定こども園	保育所	小学校	中学校	義務教育学校	高等学校	中等教育学校	専修学校	各種学校	特別支援学校	短期大学	大学
平成27年	26,416	4,157	43,953	117,598	64,917	-	80,983	713	57,172	7,389	2,637	4,203	29,440
28年	26,233	4,812	43,760	117,165	63,466	-	81,006	620	58,453	7,689	2,676	4,175	29,940
29年	25,598	5,947	43,842	117,690	61,984	-	80,000	537	59,898	7,803	2,673	4,139	30,390
30年	24,947	6,445	44,006	118,726	60,494	-	77,952	463	60,950	7,529	2,706	4,004	31,058
令和元年	23,995	7,652	43,638	118,843	60,148	-	75,734	359	61,945	7,306	2,759	3,804	31,610
2年	23,168	8,253	43,204	118,696	60,736	-	73,307	238	62,432	5,772	2,754	3,705	31,353
3年	21,853	8,514	43,465	118,178	61,689	-	71,299	140	62,631	5,426	2,853	3,451	32,266
4年	20,339	8,709	43,364	116,995	61,426	797	69,933	75	58,664	5,063	2,881	2,930	33,320
5年	18,796	9,185	42,283	116,483	61,254	797	69,087	47	55,658	5,567	2,956	2,339	34,661
6年	17,012	9,709	41,729	115,643	61,314	847	69,301	18	55,392	5,100	3,054	2,435	36,287
(前年との差)	△1,784	524	△554	△840	60	50	214	△29	△266	△467	98	96	1,626
(前年からの増減率)	△9.5%	5.7%	△1.3%	△0.7%	0.1%	6.3%	0.3%	△61.7%	△0.5%	△8.4%	3.3%	4.1%	4.7%

3 幼稚園 – 園児数は1万7012人で、12年連続の減少

(1) 園数

幼稚園数は国立1園、公立51園、私立114園の合計166園で、前年度より3園減少しました。

(2) 本務教員数

本務教員数は1870人で、女性職員の占める比率は95.6%でした。

(3) 園児数

園児数は1万7012人(男子8509人、女子8503人)で前年度より1784人減少(前年度比9.5%減)し、12年連続で減少しました。

年齢別にみると

3歳児 4971人(全園児数の29.2%)、

4歳児 5799人(同34.1%)、

5歳児 6242人(同36.7%)

でした。

設置者別にみると

国立 133人(全園児数の0.8%)、

公立 2431人(同14.3%)、

私立 1万4448人(同84.9%)

でした。

本務教員1人当たり園児数は9.1人で、全国値は9.2人でした。

1組当たり園児数は20.3人で、全国値は17.9人でした。

【付表1・2・3、統計表第1表】

付表3 幼稚園の本務教員数及び組数の推移

年度	本務教員数(人)				本務教員1人当たり		組数	1組当たり園児数	
	うち女性教員	比率	(全国値)	園児数(人)	(全国値)	(人)		(全国値)	
令和2年	1,872	1,787	95.5%	93.4%	12.4	11.7	961	24.1	21.2
3年	1,880	1,805	96.0%	93.4%	11.6	11.2	950	23.0	20.6
4年	1,815	1,738	95.8%	93.4%	11.2	10.2	908	22.4	19.6
5年	1,856	1,768	95.3%	93.4%	10.1	9.9	885	21.2	18.8
6年	1,870	1,788	95.6%	93.4%	9.1	9.2	839	20.3	17.9

4 幼保連携型認定こども園 – 園児数は9709人で、9年連続の増加

(1) 園数

幼保連携型認定こども園数は私立のみの69園で、前年度と比べ3園増加しました。

(2) 本務教育・保育職員数

本務教育・保育職員数は1464人で、女性職員の占める比率は93.3%でした。

(3) 園児数

園児数は9709人(男子4833人、女子4876人)で、前年度より524人増加(前年度比5.7%増)し、9年連続で増加しました。

年齢別にみると、

0歳児 330人(全園児数の3.4%)、
1歳児 1054人(同10.9%)、
2歳児 1196人(同12.3%)、
3歳児 2342人(同24.1%)、
4歳児 2413人(同24.9%)、
5歳児 2374人(同24.5%)

でした。

本務教育・保育職員1人当たり園児数は6.6人で、全国値は5.8人でした。

1組当たり園児数(3～5歳児)は22.3人で、全国値は19.3人でした。

【付表1・2・4、統計表第2表】

付表4 幼保連携型認定こども園の本務教育・保育職員数及び組数の推移

年度	本務教育・保育職員数(人)				本務教育・保育職員1人当たり園児数(0～5歳児)		組数	1組当たり園児数(3～5歳児)	
	うち女性教育・保育職員	比率	(全国値)	園児数(人)	(全国値)	(人)		(全国値)	
令和2年	1,188	1,116	93.9%	94.8%	6.9	6.3	257	23.8	21.0
3年	1,272	1,192	93.7%	94.7%	6.7	6.2	280	22.7	20.7
4年	1,330	1,243	93.5%	94.8%	6.5	6.0	286	22.5	19.2
5年	1,409	1,286	91.3%	94.7%	6.5	5.9	313	21.6	19.6
6年	1,464	1,366	93.3%	94.7%	6.6	5.8	320	22.3	19.3

5 保育所(学校基本調査対象外) – 児童数は4万1729人で、3年連続の減少

(1) 所数

保育所数は公設公営53所、公設民営31所、私立395所の合計479所で、前年度より1所増加しました。

(2) 保育士数

保育士数は7540人でした。

(3) 児童数

保育所児童数は4万1729人で、前年度より554人減少し、3年連続で減少しました。

年齢別にみると、

1歳児以下 8953人(全児童数の21.5%)、
2歳児 7817人(同18.7%)、
3歳児 8335人(同20.0%)、
4歳児 8393人(同20.1%)、
5歳児 8231人(同19.7%)

でした。

【付表1・2、統計表第3表】

6 小学校 - 児童数は11万5643人で、5年連続の減少

(1) 学校数

学校数は国立2校、公立284校、私立7校の合計293校(分校4校を含む)で、前年度と比べ2校増加しました。

(2) 本務教員数

本務教員数は8297人で、女性職員の占める比率は60.6%でした。

(3) 児童数

児童数は11万5643人(男子5万8972人、女子5万6671人)で前年度より840人減少(前年度比0.7%減)し、5年連続で減少しました。

学年別にみると、最も多いのは6年生で1万9717人(全児童数の17.0%)、最も少ないのは1年生で1万8625人(同16.1%)でした。

設置者別にみると

国立 1251人(全児童数の1.1%)、
公立 11万1402人(同96.3%)、
私立 2990人(同2.6%)

でした。

本務教員1人当たり児童数は13.9人で、全国値は14.0人となっています。

1学級当たりの児童数は21.4人で、全国値は21.7人でした。

外国人児童数は3410人で、前年度より86人増加(前年度比2.6%増)し、児童全体に占める割合は2.9%でした。

【付表1・2・5、統計表第4表】

付表5 小学校の本務教員数及び学級数の推移

年度	本務教員数(人)				本務教員1人当たり児童数		学級数	1学級当たり児童数	
	うち女性教員	比率	(全国値)	(人)	(全国値)	(人)		(全国値)	
令和2年	7,914	4,833	61.1%	62.3%	15.0	14.9	5,243	22.7	23.1
3年	8,017	4,867	60.7%	62.4%	14.8	14.7	5,346	22.2	22.8
4年	7,936	4,797	60.4%	62.4%	14.7	14.5	5,477	21.4	22.4
5年	8,345	5,086	60.9%	62.6%	14.0	14.3	5,469	21.3	22.1
6年	8,297	5,026	60.6%	62.6%	13.9	14.0	5,407	21.4	21.7

7 中学校 – 生徒数は 6 万 1314 人で、4 年ぶりの増加

(1) 学校数

学校数は国立 2 校、公立 129 校、私立 23 校の合計 154 校で、前年度と比べ 1 校増加しました。

(2) 本務教員数

本務教員数は 5011 人で、女性職員の占める比率は 46.6%でした。

(3) 生徒数

生徒数は 6 万 1314 人（男子 3 万 1187 人、女子 3 万 127 人）で前年度より 60 人増加（前年度比 0.1%増）し、4 年ぶりに増加しました。

設置者別にみると

国立 751 人（全生徒数の 1.2%）、

公立 5 万 1380 人（同 83.8%）、

私立 9183 人（同 15.0%）

でした。

本務教員 1 人当たり生徒数は 12.2 人で、全国値は 12.7 人となっています。

1 学級当たりの生徒数は 26.8 人で、全国値は 26.3 人でした。

外国人生徒数は 1254 人で、前年度より 36 人増加（前年度比 3.0%増）し、生徒全体に占める割合は 2.0%でした。

【付表 1・2・6、統計表第 5 表】

付表 6 中学校の本務教員数及び学級数の推移

年度	本務教員数（人）				本務教員 1 人当たり 生徒数		学級数	1 学級当たり生徒数	
		うち 女性教員	比率	(全国値)	(人)	(全国値)		(人)	(全国値)
令和 2 年	4,865	2,231	45.9%	62.3%	12.5	14.9	2,291	26.5	27.1
3 年	4,978	2,272	45.6%	62.4%	12.4	14.7	2,353	26.2	26.9
4 年	4,677	2,197	47.0%	62.4%	13.1	14.5	2,387	25.7	26.7
5 年	4,977	2,299	46.2%	62.6%	12.3	14.3	2,329	26.3	26.5
6 年	5,011	2,335	46.6%	44.8%	12.2	12.7	2,289	26.8	26.3

8 高等学校 – 生徒数は6万9301人で、8年ぶりの増加

(1) 学校数

学校数は国立1校、公立49校、私立36校の合計86校で、前年度より3校減少しました。

(2) 本務教員数

本務教員数は4921人で、女性職員の占める比率は34.8%でした。

(3) 生徒数

生徒数は6万9301人（男子3万4355人、女子3万4946人）で前年度より214人増加（前年度比0.3%増）し、8年ぶりに増加しました。

設置者別にみると

国立 1283人（全生徒数の1.9%）、
公立 3万504人（同44.0%）、
私立 3万7514人（同54.1%）
でした。

付表7 高等学校の本務教員数の推移

年度	本務教員数（人）				本務教員1人当たり生徒数（人）	
	うち女性教員	比率	(全国値)	(人)	(全国値)	
令和2年	5,168	1,723	33.3%	32.5%	14.2	13.5
3年	5,188	1,755	33.8%	32.9%	13.7	13.3
4年	5,035	1,714	34.0%	33.1%	13.9	13.2
5年	4,962	1,681	33.9%	33.4%	13.9	13.1
6年	4,921	1,714	34.8%	33.8%	14.1	13.0

本科の生徒数を学科別にみると、
普通科

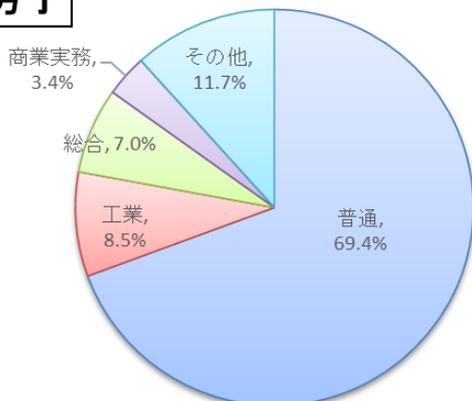
4万7569人（全生徒数の68.6%）、
総合学科 5125人（同7.4%）、
工業科 4220人（同6.1%）、
商業科 2694人（同3.9%）、
その他 9693人（同14.0%）
でした。

男女別に学科別生徒数を比較すると、男女ともに普通科の割合が最も高く、男子は69.4%、女子は67.9%でした。

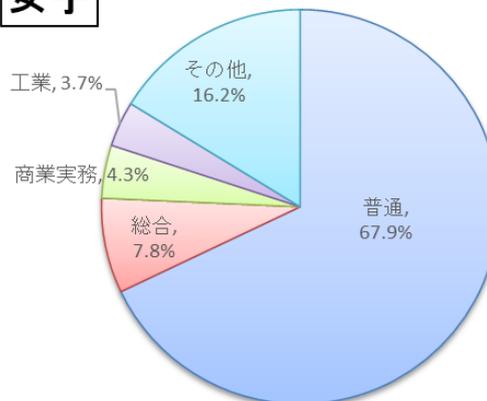
【付表1・2・7、図1、統計表第7表】

図1 高等学校の本科生徒の男女別学科別割合

男子



女子



9 専修学校 - 生徒数は5万5392で、3年連続の減少

(1) 学校数

学校数は、公立1校、私立158校の合計159校で、前年度と同数でした。

(2) 本務教員数

本務教員数は2870人で、女性職員の占める比率は47.0%でした。

(3) 生徒数

生徒数は5万5392人（男子2万4201人、女子3万1191人）で前年度より266人減少（前年度比0.5%減）し、3年連続で減少しました。

分野別にみると

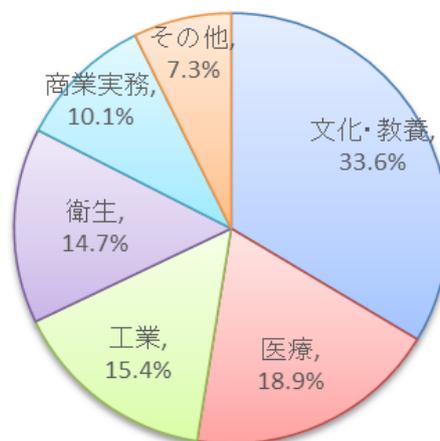
文化・教養 1万8615人
 （全学生数の33.6%）、
 医療 1万476人（同18.9%）、
 工業 8512人（同15.4%）、
 衛生 8124人（同14.7%）、
 商業実務 5620人（同10.1%）、
 服飾・家政 2154人（同3.9%）、
 教育・社会福祉 1826人（同3.3%）、
 農業 65人（同0.1%）
 でした。

【付表1・2・8、図2、統計表第9表】

付表8 専修学校の本務教員数の推移

年度	本務教員数（人）			
		うち 女性教員	比率	(全国値)
令和2年	3,000	1,394	46.5%	52.7%
3年	3,023	1,389	45.9%	52.5%
4年	2,917	1,331	45.6%	52.3%
5年	2,908	1,338	46.0%	52.4%
6年	2,870	1,348	47.0%	52.4%

図2 専修学校の生徒の分野別割合



10 各種学校 – 生徒数は 5100 人で、2 年ぶりの減少

(1) 学校数

学校数は私立のみの 19 校で、前年度と同数でした。

(2) 本務教員数

本務教員数は 222 人で、女性職員の占める比率は 54.5% でした。

(3) 生徒数

生徒数は 5100 人 (男子 3078 人、女子 2022 人) で前年度より 467 人減少 (前年度比 8.4% 減) し、2 年ぶりに減少しました。

分野別にみると

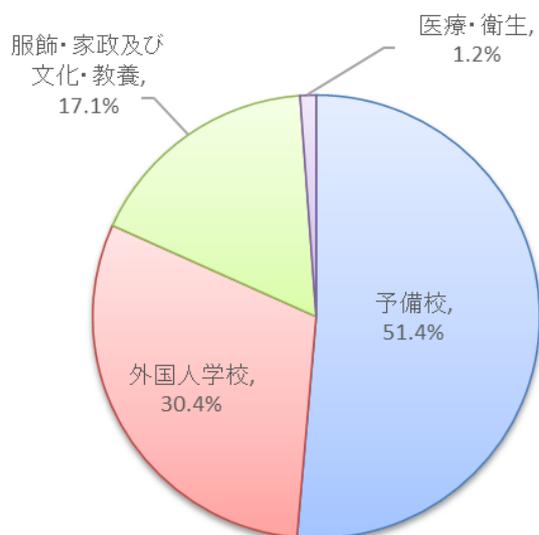
予備校 2620 人 (全生徒数の 51.4%)、
外国人学校 1549 人 (同 30.4%)、
服飾・家政及び文化教養 872 人 (同 17.1%)、
医療・衛生 59 人 (同 1.2%)
でした。

【付表 1・2・9、図 3、統計表第 10 表】

付表 9 各種学校の本務教員数の推移

年度	本務教員数 (人)			
	うち 女性教員	比率	(全国値)	
令和 2 年	267	141	52.8%	44.5%
3 年	269	140	52.0%	43.7%
4 年	246	124	50.4%	43.6%
5 年	239	124	51.9%	44.5%
6 年	222	121	54.5%	45.5%

図 3 各種学校の生徒の分野別割合



11 短期大学 – 学生数は 2435 人で、11 年ぶりの増加

(1) 学校数

学校数は私立のみの 8 校で、前年度と同数でした。

(2) 本務教員数

本務教員数は 189 人で、女性職員の占める比率は 53.4% でした。

(3) 学生数

学生数は 2435 人（男子 249 人、女子 2186 人）で前年度より 96 人増加（前年度比 4.1% 増）し、11 年ぶりに増加しました。

関係学科別にみると

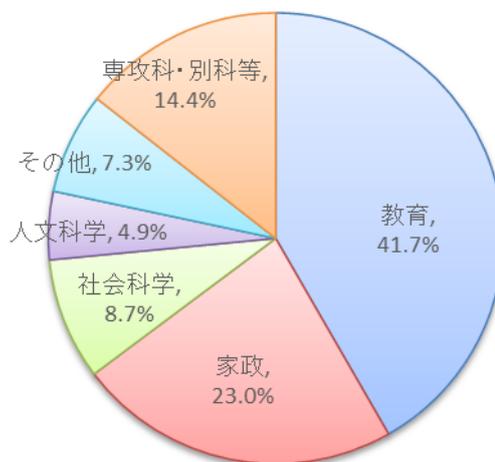
教育 1016 人（全学生数の 41.7%）、
 家政 560 人（同 23.0%）、
 社会科学 213 人（同 8.7%）、
 人文科学 119 人（同 4.9%）、
 その他 177 人（同 7.3%）、
 専攻科・別科等 350 人（同 14.4%）
 でした。

【付表 1・2・10、図 4、統計表第 12 表】

付表 10 短期大学の本務教員数の推移

年度	本務教員数（人）			
		うち 女性教員	比率	(全国値)
令和 2 年	257	149	58.0%	53.1%
3 年	250	148	59.2%	53.5%
4 年	248	151	60.9%	53.6%
5 年	227	133	58.6%	53.7%
6 年	189	101	53.4%	53.9%

図 4 短期大学の学生の関係学科別割合



12 大学 – 学生数は学部・大学院あわせて過去最多の3万6287人

(1) 学校数（注1）

学校数は、公立2校、私立13校の合計15校で、前年度と同数でした。

(2) 本務教員数（注2）

本務教員数は2515人で、女性職員の占める比率は25.8%でした。

(3) 学生数（注3）

学生数は3万6287人（男子2万1365人、女子1万4922人）で、前年度より1626人増加（前年度比4.7%増）しました。

学生数の内訳をみると、

学部 3万2107人（構成比88.5%）、
大学院 3010人（同8.3%）、
専攻科・別科等 1170人（同3.2%）

でした。

関係学部別にみると、

昼間（第1部）では、「社会科学」、「工学」が多く、夜間（第2部）では、「社会科学」が多くなっています。

【付表1・2・11、図5、統計表第13表】

（注1）「学校数」は、市内に本部を有する学校数です。

（注2）「本務教員数」は市内に本部を有する学校の数値です。

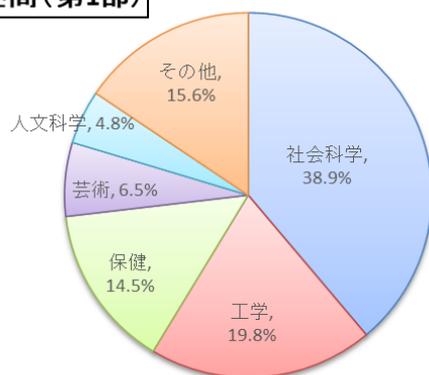
（注3）「学生数」は市内の学部在籍する学生の数であり、学部学生のほか、大学院、専攻科・別科の学生及び聴講生等を含みます。

付表11 大学の本務教員数及び学生数の推移

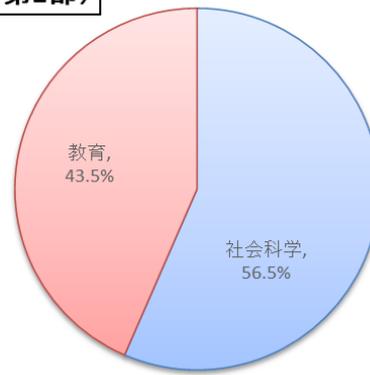
年度	本務教員数（人）				学生数（人）							
	うち 女性教員	比率	(全国値)	うち 学部	うち 大学院	うち 専攻科・別 科等	うち 女子	女子の 比率	(全国値)			
令和2年	1,625	362	22.3%	25.9%	31,353	28,120	2,837	396	12,268	39.1%	44.0%	
3年	1,749	417	23.8%	26.4%	32,266	28,911	2,916	439	12,657	39.2%	44.5%	
4年	2,453	583	23.8%	26.7%	33,320	29,817	3,006	497	13,172	39.5%	44.5%	
5年	2,491	615	24.7%	27.2%	34,661	31,059	3,065	537	13,929	40.2%	44.6%	
6年	2,515	648	25.8%	27.8%	36,287	32,107	3,010	1,170	14,922	41.1%	44.7%	

図5 大学の学生の昼夜別関係学科別割合

昼間（第1部）



夜間（第2部）



II 卒業後の状況調査

1 中学校卒業後 - 高等学校への進学率は98.4%で前年度と比べ0.1ポイント上昇

(1) 卒業者数

令和6年3月の中学校卒業者は2万525人(男子1万482人、女子1万43人)でした。

(2) 卒業者の状況(注1)

卒業者を状況別にみると、
 高等学校進学者
 2万188人(卒業者の98.4%)、
 専修学校進学・入学者 131人(同0.6%)、
 就職者等 48人(同0.2%)
 でした。

(3) 進学状況

高等学校への進学者の割合(以下「進学率」という。)は98.4%で、前年度より0.1ポイント上昇しました。

進学率を男女別にみると、男子は98.2%(前年度と変わらず)、女子は98.5%(同0.1ポイント上昇)となっています。

(4) 就職状況(注2)

就職者数は46人(男子39人、女子7人)でした。

男女別産業別にみると、男女ともに第三次産業の割合が一番大きく、就職者全体の60.9%となっています。

【付表12、図6、統計表第14表】

(注1)「高等学校等進学者」及び「専修学校等進学・入学者」には、高等学校等に進学及び専修学校等に進学・入学し、かつ、就職等をしている者を含みます。

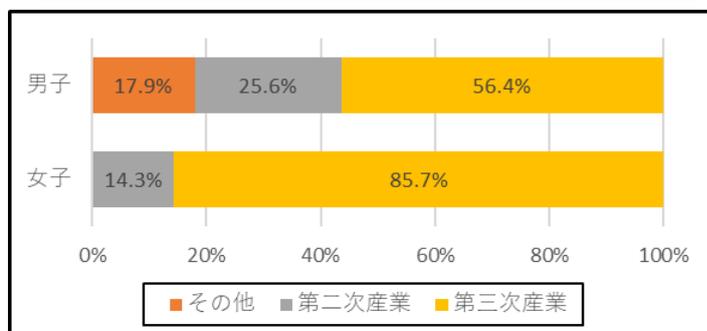
「就職者等」とは、自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者(雇用契約期間が1か月以上の者)及び臨時労働者をいい、高等学校等に進学及び専修学校等に進学・入学し、かつ、就職等をしている者を含みません。

(注2)「就職者」とは自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当(1週間の所定労働時間が40~30時間)の者をいい、高等学校等に進学及び専修学校等に進学・入学し、かつ、就職をしている者を含みます。

付表12 中学校卒業者の進学率の推移

卒業年月	進学率		
	計	男子	女子
令和2年3月	98.8%	98.7%	98.8%
3年	98.5%	98.4%	98.6%
4年	98.5%	98.4%	98.6%
5年	98.3%	98.2%	98.4%
6年	98.4%	98.2%	98.5%

図6 中学校卒業者の就職者の男女別産業別割合(令和6年3月卒業)



2 高等学校卒業後 — 大学等への進学率は67.5%で前年度と比べ1.2ポイント上昇

(1) 卒業者数

令和6年3月の高等学校卒業者は2万1564人(男子1万798人、女子1万766人)でした。

(2) 卒業者の状況(注1)

卒業者を状況別にみると
 大学等進学者
 1万4556人(卒業者の67.5%)、
 専修学校進学・入学者
 3856人(同17.9%)、
 就職者等 2051人(同9.5%)
 でした。

(3) 進学状況

大学等への進学者の割合(以下「進学率」という。)は67.5%で、前年度より1.2ポイント上昇しました。

進学率を男女別にみると、男子は66.1%(前年度より0.9ポイント上昇)、女子は68.9%(同1.5ポイント上昇)となっています。

(4) 就職状況(注2)

就職者数は1953人(男子1265人、女子688人)でした。

職業別にみると、「生産工程従事者」の割合が就職者全体の28.9%一番大きく、次いで「専門的・技術的職業従事者」が12.1%となっています。

【付表13、図7、統計表第15表】

(注1)「大学等進学者」及び「専修学校等進学・入学者」には、大学等に進学及び専修学校等に進学・入学し、かつ、就職等をしている者を含みます。

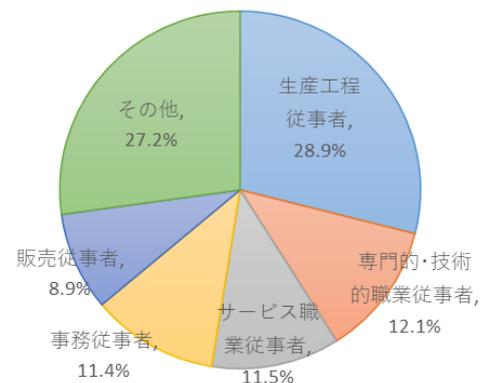
「就職者等」とは、自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者(雇用契約期間が1か月以上の者)及び臨時労働者をいい、大学等に進学及び専修学校等に進学・入学し、かつ、就職等をしている者を含みません。

(注2)「就職者」とは自営業主、無期雇用労働者、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当(1週間の予定労働時間が40~30時間)の者をいい、大学等に進学及び専修学校等に進学・入学し、かつ、就職をしている者を含みます。

付表13 高等学校卒業者の進学率の推移

卒業年月	進学率		
	計	男子	女子
令和2年3月	59.8%	57.0%	62.7%
3年	62.7%	60.9%	64.5%
4年	65.1%	62.9%	67.3%
5年	66.3%	65.2%	67.4%
6年	67.5%	66.1%	68.9%

図7 高等学校卒業者の就職者の職業別割合(令和6年3月卒業)



3 短期大学卒業後 — 卒業者に占める就職者の割合は87.2%

(1) 卒業生数

令和6年3月(年度途中の卒業生を含む)の短期大学卒業生は1235人(男子41人、女子1194人)でした。

(2) 卒業生の状況(注1)

卒業生を状況別にみると、進学者は39人(卒業生の3.2%)、就職者等は1109人(同89.8%)、専修学校・外国の学校等入学者は5人(同0.4%)でした。

(3) 就職状況(注2)

就職者数は1077人で、職業別にみると、「専門的・技術的職業従事者」が最も多く、産業別にみると、「医療・福祉」が最も多くなっています。

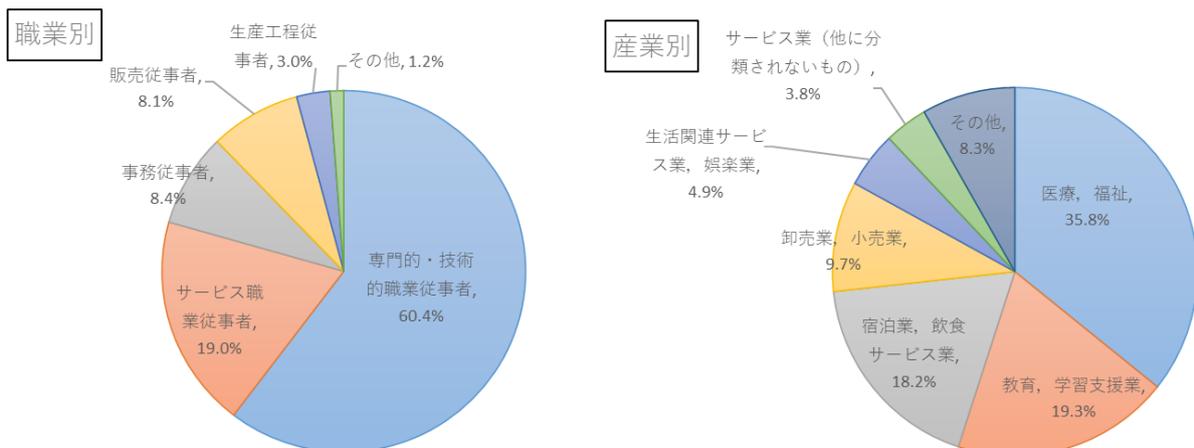
【図8、統計表第16表】

(注1)「進学者」とは、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科、別科に入学したものをいい、かつ、就職等をしている者を含みます。

「就職者等」とは、自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者(雇用契約期間が1か月以上の者)及び臨時労働者をいい、進学し、かつ、就職等をしている者を含みません。

(注2)「就職者」とは自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当(1週間の予定労働時間が40~30時間)の者をいい、進学し、かつ、就職をしている者を含みます。

図8 短期大学卒業者の就職者の職業別、産業別内訳(令和6年3月卒業)



4 大学卒業後 — 卒業者に占める就職者の割合は87.2%

(1) 卒業生数 (注1)

令和6年3月(年度途中の卒業生を含む)の大学卒業生は6650人(男子4080人、女子2570人)でした。

(2) 卒業生の状況 (注2)

卒業生を状況別にみると、進学者は766人(卒業生の11.5%)、就職者等は5425人(同81.6%)、専修学校・外国の学校等入学者は29人(同0.4%)でした。

(3) 就職状況 (注3)

就職者数は5177人で、職業別にみると「専門的・技術的職業従事者」が最も多く、産業別にみると「医療・福祉」が最も多くなっています。

【図9、統計表第17表】

(注1) 卒業生数は、市内の大学を卒業した者の数値です。

(注2) 「進学者」とは、大学院研究科、大学学部、短期大学本科、大学・短期大学の専攻科、別科に入学したものをいい、かつ、就職等をしている者を含みます。

「就職者等」とは、自営業主等、無期雇用労働者、有期雇用労働者(雇用契約期間が1か月以上の者)及び臨時労働者をいい、進学し、かつ、就職等をしている者を含みません。

(注3) 「就職者」とは自営業主、無期雇用労働者、有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当(1週間の予定労働時間が40~30時間)の者をいい、進学し、かつ、就職をしている者を含みます。

図9 大学卒業生の就職者の職業別、産業別内訳 (令和6年3月卒業)

